

◆第五福竜丸、ビキニ環礁、水爆とチラチラ聞いたことのある単語はありましたがそれがどのようなものか知りませんでした。第二次世界大戦が終わったあとにもあのような被害の出る実験が行われていたことが衝撃的でした。水爆が、見た人が太陽だと勘違いするほどの威力を持っていて、それに被ばくしてしまった船を今の時代に残してくれた人たちの努力は計り知れないものだと思います。とても有意義な回でした。行ってよかったです。

◆今回、学芸員の方のお話を聞いて、水爆実験によって被害を受けた方は日本の方だけではなく、水爆実験の実験場となったマーシャル諸島の人々もだったことがよく分かりました。特に印象に残ったのは死の灰が降ってきた時、何も知らない日本の船員の方々やマーシャル諸島の子どもたちがただただ邪魔だと思ったことや、誰が一番これを集められるかなど誰も死の灰を恐れていなかったということです。展示館に掲示されていた写真には手が何倍にも膨れ上がったアメリカの海軍の方の写真がありました。それほどまでに恐ろしいものだったにも関わらず、危機感を持つことが出来なかったと聞き、悔しさも感じました。禁止されていることには必ず禁止される理由があります。しかし、第五福竜丸の被害者の方々も亡くなってしまい、もうあの時の出来事を知る人はどんどん減っていつてしまいます。核とはとても危険なものなのだと、甚大な被害を出すものなのだと、次の世代に伝えていけるように学んでいきたいと思いました。



「ヒバクシャ」は広島・長崎
の原爆被害者だけではない

館内には第五福竜丸船体実物、水爆実験の被害、乗組員の病状、マグロ騒動、放射能雨、原水爆反対の運動、太平洋の核汚染状況、日米政府による事件の決着、マーシャル諸島の核被害、世界の核実験被害、核実験・核開発年表などの展示があります。外にも久保山愛吉記念碑、エンジン、マグロ塚石碑があります。



大漁旗とともに記念撮影

鷺宮から「新木場」までは約1時間。見学後、少し戻って「月島」で名物のもんじゃ焼きを食べて帰りました。

